

1歳くらいの
~赤ちゃん募集中~
自慢のお子さんをみんなに
披露しちゃいませんか?
メール☎お待ちしております!



新しくなった 令和小学校

旧新井小学校跡地に新しく建設された令和小学校は、令和4年4月6日に136人の新1年生を迎えて入学式が行われ、新校舎で新しい歴史を刻み始めました。松井校長先生のご好意で、新装令和小学校を訪れてきました。



正門から真新しい校舎を臨むと、白い校舎が浮かび上がり、とても明るい感じがします。また中野通りに面した体育館の偉容は、伸び行く子どもたちの未来が予感されてとても素晴らしい見えます。真ん中に広がる校庭は、まだ工事中でしたが、6月になって完成されるとの事、児童たちを迎える緑の人工芝がきつと映えることでしょう。



あらい地域ニュース

NO.368 5月号
令和4年5月10日発行
発行 新井区民活動センター運営委員会
編集 あらい地域ニュース編集委員会
住所 中野区新井3-11-4
電話 3389-1310 FAX 3389-1370
https://nakano-arai.gr.jp/
nakano_arai@eco.ocn.ne.jp

地域の絵日記

3/29(火) あらいのまちの演奏会♪
事前受付開始日、40分で定員5名が埋まりました。約1時間、ナマの弦楽四重奏をお楽しみいただきました。



避難所について

令和4年4月1日から新井北防災会・新井中防災会の区域にお住まいの方の避難所は「令和小学校」(新井 4-19-26)になりました。

「中野五中」の一瞬を大切に

第五中学校の校舎の北側の壁面には「中野五中 この一瞬を大切に」と書かれた大きなメッセージボードがあります。西武線に乗っているとときわ目立つメッセージです。これは、今から11年前の2011年の3月に、卒業を控えた当時の3年生が卒業制作で取り組んで完成させたものです。「後輩たちに伝えたいメッセージは?」というアンケートをとって決めたそうです。デザインも自分たちで考えました。「一瞬」の「瞬」の字に時計が重ねてあるデザインがすてきです。12枚のボードは各クラスで分担してペンキを塗りました。設置は一番目立つ高いところにしようということになり、当時の先生のご近所に住む塗装業者の方が無料で取り付けてくれたそうです。

卒業式を目前に控えた3月11日(金)に東日本大震災が起きました。学校は地震が起きた翌週の月曜日から給食なしの午前中授業となってしまうたそう、卒業式までの仲間たちと過ごす貴重な時間は少なくなってしまう不安が募る毎日だったことでしょう。そんな中ですから、このメッセージは後輩たちに向けたものだけでなく、自分たちに向けたメッセージにもなったそうです。卒業式は無事に行われました。

あれから11年、このメッセージは五中の後輩たちへ発信され続けてきました。そして、今、このコロナ禍を生きる私たちに、「一日一日、一時一時を大切にしてください。」と伝えてくれています。本当にすてきなメッセージです。当時の3年生の生徒たちと教職員の方々の感謝の気持ちで一杯になります。(校長 鈴木 達彦)



学校だより 第五中学校

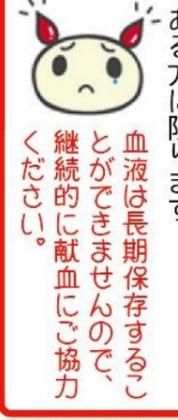
献血のお知らせ

病やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、16〜69歳まで(※)の健康な方に献血のご協力をお願いしています。受付・採血から休憩まで40分程度かかります。

日時:5月27日(金)
午前10時〜12時
午後1時30分〜4時
会場:中野区役所前広場

※65歳以上の方の献血については、60〜64歳の間に献血経験がある方に限ります。

血液は長期保存することができませんので、継続的に献血にご協力ください。



編集委員募集!

地域ニュースの紙面づくりに参加してみませんか? 現在、あらい地域ニュースは6人の編集委員で作られています。特集記事の取材やコラムなどを順番に担当して、隔月(奇数月)発行しています。ご興味のある方は、自己PRと作文(これからの社会に求められる地域情報)(800字以内、様式自由)をメール等でお送りください。

新井区民活動センター運営委員会
広報部長 濱本 まで

新井薬師児童館

今年度は子育てなま作り支援事業「トマトクラブ」を月齢2つのクラスわけをして実施しています。曜日時間など変更になっています。(詳細は「トマトクラブ」通信または、HPをご覧ください。)

先月登場した「段ボール片の輪」。

「これは、どうやって遊ぶのかな?」「何ですか?」と聞かれることがあるのですが、危なくなければ、どんなふうにしてもいいと思っています。子どもたちが発見したり、大人が面白そうだなと何かやってみたら、そこが「あそびの入り口」になるのかなと思います。来館してくれるお子さんがどんなふうにご遊んでくれるかな、こういう遊び方はどうかなという浮かながら職員一同で準備して待っていますね。

〒203-0809(0)54338
03(3389)5433



キッズ・プラザ令和

令和小学校の北側校舎1階(線路側)に、キッズ・プラザ令和ができました。

キッズ・プラザは、おもちゃで遊んだり、宿題をしたり、マンガを読んだり、自由に過ごせる「遊び場」です。学校帰りにランドセルを背負ったままでも、一度家に帰ってから遊びに来ることもできます。遊びに来るときは、おうちのひと「何時に帰るか」「お迎えに来るか」どうかなど約束をして来て下さい。



余滴 ギールなかのの 地域包括ケア

中野区は地域包括ケアシステムを進めるにあたり、対象を高年齢者中心から支援が必要とするすべての人に広げ、「ギールなかの」の地域包括ケアとして新たな取り組みを始めた。

その一環として4月から中野区の地域包括ケア担当、薬師あいロード商店街と川島商店街、そして区内介護事業所が連携して「認知症地域支援推進事業」を始める。薬師あいロード商店街では、「あいロード広場」にて毎週月曜日午後1時から4時、サロンを開催する。誰もが参加でき、認知症について専門相談員に身近な相談をしたり、交流したりできる場となる。軽度の認知症を自覚し始めた人や、ご家族のごことでお悩みの方は、気軽に立ち寄りみてはいかがだろうか。

地域包括ケアが目指す地域共生社会を実現させるために、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域の多様な人々が世代を超えて「丸ごと」つながることが重要だ。商店街にこのような丸ごとつながるための「居場所」を作ることとはその一歩といえる。

地域共生社会実現には、異なる立場のひとたちが、各々のメリットを各々に得られることが必要とも思われがちだ。しかし実際には、関係者が同じ気持ちを持共有して同じ方向に向かうことこそが大切で、それさえうまくできれば、意外と簡単に実現していくものではないかとも思える。

(星野)



令和小学校 訪問記

学校の概略を紹介します。1階はこ
だま学級と職員室、保健室・給食室・
ランチルームや地域連携室・PTA
室・図書室などが配置されています。
2階は1年生と2年生、3階は3年生
と4年生の教室と少人数教室。4階は
5年生と6年生の教室となっております。
そして4～6年生の教室には進級
する1～3年生に対応するために4
組目の教室が用意されていました。

それにしても広々とした造りであ
る。廊下も広しい明るい、従来の学校
のイメージとは大きく違っている。
校長先生からは、「子どもたちもワク
ワクすると言っていますよ」「新校舎
を最大限利用して、地域とのコミュ
ニティを作っていきたい」とお話が
ありました。



手洗い場



水筒などに水を
入れられる冷水機



ワークスペース



コンピュータ室



フリースペース



図書室

「一足制」
まず広々とした玄関を入って驚いた
のは「下駄箱」がない事です。上履きに
履き替えて教室に入るのが通常ですが、
靴のまま入校(?)する「一足制」が採
用されている事でした。(みなみの小学
校・美鳩小学校等で採用)上履きへの履
き替えをなくし、下駄箱も無くすこと
で「災害時にスムーズな避難・誘導が可能
となり、靴箱スペースがないことでバリ
アフリー化が進む」など多くのメリット
が期待されています。



横長の教室

屋上はプールだった

教室を見ながら階段を上がると、屋
上に到達します。何とそこはプールだ
ったのです。25メートルの立派なプー
ルが水を湛えていたのです。夏の日差
しを体いっぱい浴びてのプール利
用時には、さぞかし解放感に浸りなが
ら授業やプール遊びができると思わ
れ、子ども達の楽しそうな姿が目につ
かびました。展望良し、設備良しと何
ともリゾートのような光景でした。



だんだんアリーナ

これらの中で、特に紹介したい施設
があります。それは1階と2階をつな
ぐ階段式教室「だんだんアリーナ」で
す。1階から吹き抜けのように階段が
作っており、100人位を収容可能な
スペースで、サツと集まって話を聞い
たり横断的活動の報告をしたりと、と
ても有効的に使えそうなスペースで
す。他で見たことはない全く新しい施
設でした。保護者の方々に催し物の説
明とか案内が可能だし、児童間の交流
にも使えそうです。



屋上のプール



体育館

はじめまして。小池隆一校長先生の
後任として着任しました松井敏
夫(とよし)と申します。区内、南台
小から参りました。中野区で20年目
の勤務になります。これまで区内で3
回の学校統合再編を経験してきました。
開校から2年間、感染症流行の
中、様々な制限の中で準備されての
今回の新校舎移転であったと想像し
ます。そこにはたくさんの方々の支え
があり、新校舎への思いや願いも詰ま
っていると思います。子どもたちのア
イデアも生かして、この新校舎を子ど
もたちと地域の方々との交流の場とし
ても大切に使用していきます。シルバ
ーの頑丈な新校舎に柔らかさやあたた
かさやどどん生まれてくるように
していきたいです。



中野区立令和小学校
校長 松井 敏 先生

校長先生に声をかけられた教員の
方々からも「横長教室だから、目が届
きやすい」「明るくて使いやすい」な
どの声を聞くことができました。6年
生の児童からの声も届いています。
6年生の声
・すごく大きくて明るくきれい。汚れ
ないように使っています。
・教室が横長で黒板も見やすい。勉強
もはかどっています。
・体育館や廊下が広くてとても使い
やすいです。

・校庭が完成するのが楽しみです。
でき上がったなら、思い切り遊びたい
です。
・だんだんアリーナで1年生に学校
のことを教えてあげたい。発表会み
たいなこともしたい。
その他、6年生へのアンケートか
らは、
『音楽室…音が立体的に聞こえる』
『体育館…木のおいしい』
などの声が多数集まりました。

体育館は2階だった

屋上から降りて2階に来ると、そこ
は体育館でした。何と体育館は2階に
あるのです。スペース的には旧体育館
と同じであろうが、明るくてきれいで
使いやすそうです。また、木の香り
もして、天井も高く、安心して運動で
きる環境だと思いました。子どもたち
は校舎内から、訪問客は外から入る構
造だが、目を見張るものとして、校庭
側にペランダが設置されていました。
ペランダに出ると、中野通り・校庭と
校舎が一望できるのです。
体育館の下は、キッズ・プラザと学
童保育が併設されています。訪れた時
には、元気な子どもたちの声が響き渡
っていました。

感想

新しい学校として何が生まれ変わ
ったのか?興味津々で出かけた訪問
でした。オープンスペースが多く、枠
にはめることなく、誰一人も取り残さ
ない教育ができるように配慮された
校舎造りであると、強く感じました。
ユニバーサルな環境で学んだ子ども
たちの成長が楽しみであり、見守って
いきたいと思うものです。(伊藤)

